

熱傷のとき

火や炎、水蒸気、高温物質で熱傷したとき

- (1) 処置の基本は、冷却、清潔、空気遮断の3つ。
- (2) 多量の水で、痛みがなくなるまでよく冷却する（30分～1時間くらい）。
- (3) 水ぶくれができていたら、清潔なガーゼかタオルを当て、直接水道水が当たらないようにする。水疱の皮は大切にす。
- (4) 熱傷の範囲が広い場合やひどい熱傷の場合は、応急処置を施した後、医師の治療を受ける。

火傷の程度	主な症状	応急処置
第1度火傷	赤変、痛み、皮膚膨潤	冷水療法で治療
第2度火傷	第1度火傷＋水疱	消毒したガーゼを軽く施し、医師の治療を受ける。きつく縛ったり、水疱を開いてはならない。
第3度火傷	皮膚の壊死 褐色、黒、白に変色	消毒したガーゼを軽く施し、医師の治療を受ける。